

(様式1)

# 環境配慮検討書

津農第1308号  
令和5年1月25日

三重県環境調整システム推進会議 会長 様

津農林水産事務所長

三重県環境調整システム推進要綱第4条の規定に基づき提出します。

対象事業の名称	高度水利機能確保基盤整備事業 一身田平野地区	
連絡先	担当課所名	津農林水産事務所 農村基盤室 農村計画課
	電話番号	059-223-5140

1 事業の計画の名称、目的及び内容

(1)名称	高度水利機能確保基盤整備事業 一身田平野地区	
(2)目的	当地区内においては、農業従事者の減少や高齢化が進んでおり、後継者不足により農業構造の脆弱化が進行している。また経営規模は1.0ha未満の農家がほとんどで、近年の米価の下落の影響を受け農業経営が危機的状況にある。そのため本事業にて、ほ場整備により生産基盤の整備を行うと同時に、計画的な土地利用、効率的な農作業など組織的で安定した農業経営を実践しながら、計画地域の農業を将来に渡って守っていくことを目的としている。	
(3)事業主体	三重県	
(4)計画内容	計画地の位置 参考図 - 1 参照	三重県津市一身田平野 地内
	建物・施設等の概要 (用途、規模、面積、配置等) 参考図 - 2 参照	区画整理工 整地工A=24.3ha 道路工L=3.5km 用水路工L=3.5km 排水路工L=3.3km
	用水の使用計画	かんがい期間：3月21日～8月20日 153日間 水源：二級河川志登茂川より取水
	エネルギーの使用計画	なし
	雨水、汚水の排水計画	雨水：開水路より既存の排水路に流下後、毛無川へ流下させる。 汚水：汚水の排出は無い。
	道路・交通計画	区画整理に伴い、幅4m～3mの農道を再配置する。 農道は、砂利又はアスファルト舗装を行う。
	工期	ア)着工の予定時期 イ)完工及び供用開始の予定時期
(5)関連事業計画	なし	
(6)その他	なし	

2 計画地の社会的条件の現況等

(1)計画地の社会的条件の現況	交通の現況	公共交通機関として近鉄名古屋線の高田本山駅が計画区域に隣接しているが、計画区域内の農地及び集落に隣接している集落道路及び農道は狭小で、営農・生活に適した道路ではない。
	土地利用の現況	高田本山駅の周辺には集落があり、農地は農振区域の農用地で水田である。
	水域利用の現況	水域利用は無い。
	生活関連施設の現況	学校施設：一身田中学校 医療施設：岩崎病院、吉田クリニック 公共施設：すばる児童館 文化施設：明覚寺
(2)関係法令等による地域の指定・規制状況	自然環境保全地域等の指定状況	自然環境保全地域(地区)、自然公園地域(区域)、鳥獣保護区の指定状況  自然環境保全地域：なし 自然公園地域：なし 鳥獣保護区及び鳥獣特別保護区：46 中勢特定猟具使用禁止区域(銃猟)
	土地利用規制の現況	都市計画法、農業地域振興法、森林法等の規制状況 都市計画法：なし 農業地域振興法：規制あり(農業振興地域、農用地区域) 森林法：なし 砂防法：なし 地すべり防止法：なし 急傾斜地災害防止法：なし 河川法：規制あり(二級河川志登茂川及び毛無川) 漁港法：なし 海岸法：なし 文化財保護法：なし 景観法：届出要(3,000m <sup>2</sup> を超える土地の開墾)

3 計画地の自然的条件の現況

(1)地形・地質	文献調査	文献名	津市田園環境整備マスタープラン 農地中間機構関連農地整備事業一身田平野地区実施計画書	
	現地調査の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無 (実施日時 R4.2)	聴取調査の有無	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
	調査結果等	本地域の地形については1/1200と志登川右岸に広がる平坦な水田地域であり、土壌系統は灰色土壌壤土型と灰色土壌粘土満俺型となっている。		
(2)水象	文献調査	文献名	津市田園環境整備マスタープラン 農地中間機構関連農地整備事業一身田平野地区実施計画書	
	現地調査の有無	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 (実施日時 )	聴取調査の有無	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
	調査結果等 河川、湖沼	志登茂川右岸に位置する平坦な水田である。		
	海域	なし		
(3)気象・大気質等	調査の方法	気象庁データ(津観測所データ) 令和4年度版 三重県サステナビリティレポート		
	調査結果	<p>a.気象</p> <p>計画地最寄りの気象観測データ(津観測所)は以下のとおり。 (平成3年~令和2年の30年間平均)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平均気温: 16.3</li> <li>・降水量: 1,612.9mm</li> <li>・平均風速: 3.6m/s</li> </ul> <p>(令和3年の観測値)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気温: かんがい期(4~8月)22.9 非かんがい期(9~3月)12.6 年平均17.8</li> <li>・降水量: かんがい期(4~8月)878.5mm 非かんがい期(9~3月)529.5mm 年平均704mm</li> <li>・風速: 平均3.2m/s、最大15.0m/s</li> </ul> <p>b.大気質</p> <p>計画地最寄りの観測地点(津河辺配水場)における令和3年度の大気質観測データ(年平均値)は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>): 0.001ppm</li> <li>・二酸化窒素(NO<sub>2</sub>): 0.006ppm</li> <li>・浮遊粒子状物質(SPM): 0.013mg/m<sup>3</sup></li> <li>・微小粒子状物質(PM<sub>2.5</sub>): 9.2μg/m<sup>3</sup></li> </ul> <p>c.騒音</p> <p>津市内における令和3年度の騒音観測データ(等価騒音レベルLAeq)は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境騒音 : 昼間 42~49dB、夜間 27~40dB</li> <li>・自動車交通騒音: 昼間69~72dB、夜間51~69dB</li> </ul>		

(4)生態系等	文献調査	文献名	津市田園環境整備マスタープラン 農地中間機構関連農地整備事業一身田平野地区実施計画書	
	現地調査の有無	有・無 (実施日時 R2.5.18、 R2.9.21、R2.10.7 )		聴取調査の有無 有・無
	調査結果等 植物	<p><b>植生の概要</b>：アカツメクサ、アカメカシワ、アツミゲシ、アメリカセンダングサ、アメリカアワロ、アレチギシギシ、イタドリ、イヌガラシ、イヌムギ、エノキ、エノキグサ、オオアレチノギク、オオイヌノフグリ、オオイヌホオズキ、オオイヌダテ、オオシシバリ、オオニワゼキショウ、オオバコ、オギ、オウタチカタバミ、オニウシノケグサ、オニタビラコ、オニノゲシ、オヤブシラミ、オランダミミナグサ、オルレア、カズノコグサ、カスマグサ、カラスビシャク、ギシギシ、キショウソズメノヒエ、キショウブ、クズ、クララ、クワ、ケキツネノボタン、ゲンゲ、コウガイゼキショウ、コウゾリナ、コゴメイ、コスモス、コナズビ、コハコベ、コバンソウ、コマツナギ、コマツヨイグサ、コメツブツメクサ、コマチマンネングサ、シナダレスズメガヤ、シャリンバイ、シロツメクサ、シロバナマンテマ、スイカズラ、スイバ、スカシタゴボウ、スギナ、スズメノエンドウ、スズメノカタビラ、スズメノテッポウ、セイトカアワダチソウ、セッカニワゼキショウ、セリ、ダキバアレチハナガサ、タチイヌノフグリ、タンポポ(セイヨウ×ニホン)、チガヤ、ツククサ、ツタ、ツメクサ、ツルノゲイトウ、ツルマンネングサ、トキワサンザシ、トキワハゼ、ナギナタガヤ、ナズナ、ナツフジ、ナンキンハゼ、ニワゼキショウ、ネズミホソムギ、ネズミムギ、ノアザミ、ノイバラ、ノチドメ、ノビル、ノボロギク、ノミノツツリ、ハナイバシ、ハナユカススキ、ハハコグサ、ハルジョオン、ハルノノゲシ、ヒエガエリ、ヒナキキキョウソウ、ヒナタイノコツチ、ヒメコバンソウ、ヘクソカズラ、ヘビイチゴ、ホソムギ、ホトケノザ、マツバウンラン、マツバゼリ、マメグンバイナズナ、ムシクサ、ムラサキキサキゴケ、メドハギ、メマツヨイグサ、メリケンガヤツリ、モモイロシロツメクサ、ヤブタビラコ、ヤナギタデ、ヤハズエンドウ、ヤブガラシ、ヤマアワ、ユウゲショウ、ヨメナ、ヨモギ</p> <p><b>貴重な植物個体</b>：なし <b>貴重な植物群落</b>：なし</p>		
動物	<p><b>動物相の概要</b>：スズキ、ミナミメダカ (NT)、カダヤシ、モツゴ、ボラ、カワヨシノボリ、スミウキゴリ、スジエビ、タニシ、フナ、カワエビ、スクミリンゴガイ、ミドリガメ、ヌマガエル、ニホンアマガエル、アカミミガメ、シオカラトンボ(ヤゴ)、アキアカネ (NT)、アメリカザリガニ、クロベンケイ、モズクガニ</p> <p><b>貴重な動物</b>：ミナミメダカ (NT)、アキアカネ (NT)</p> <p style="text-align: right;">出典：三重県レッドデータブック2015</p>			

(5)自然景 観・文化 財等	文献調査	文献名	津市田園環境整備マスタープラン 農地中間機構関連農地整備事業―身田平野地区実施計画書		
	現地調査の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	(実施日時 )	聴取調査の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
	調査結果等 自然景観	<p>自然景観の概要： 集落と河川、鉄道線に挟まれた立地条件であるが、いまだ自然環境が豊かに残っている地域でもある。このため農地や農業用施設等の適切な維持管理を行うことにより、周辺の集落及び景観との調和を図り、良好な景観の保全を行っている。</p> <p>貴重な自然景観：特になし</p>			
	文化財、史 跡、名勝等	<p>史跡・名勝・天然記念物：なし</p> <p>埋蔵文化財包蔵地：なし</p>			
	野外レクリエー ション 他	なし			
(8)その他、 自然災害 等	なし				

4 事業計画の検討内容（複数案比較）

\*用地選定が異なる計画、同じ用地での異なる計画等との比較を行う。比較検討用の位置図を添付すること。

	事業計画案	比較検討（A案）	比較検討（B案）
(1)計画の概要			
(2)環境評価（*左欄に 〃を相対評価で記入し、右欄に評価の理由を記入） 循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築 人と自然が共にある環境の保全 やすらぎとつるおいのある快適な環境の創造			
-1 地球温暖化防止			
-2 廃棄物対策			
-3 生活環境の保全			
-4 その他重点項目			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>該 当 な し</p> </div>			
-1 野生生物等の生育空間の確保			
-2 希少な野生生物の保護			
-3 地形、地質等の改変の抑止			
-4 その他重点項目			
-1 緑化、周辺景観との調和			
-2 親水等、ふれあい空間づくり			
-3 その他重点項目			
上記以外の特記事項			

5 事業計画案の環境配慮に係る評価

長 所	
短 所	
会議で調整を要する事柄	

4-2 事業計画の検討内容（複数案比較が実施できない場合）

複数案比較が実施できない理由	計画的な土地利用、効率的な農作業など組織的で安定した農業経営を実践しながら、計画地域の農業を将来に渡って守っていくことを目的としており、事業の目的から比較検討は行っていない。
----------------	---

環境配慮事項ごとに、環境配慮度を - で記入し、その配慮の内容及び配慮度の評価の理由を記入すること。

環境配慮技術指針の配慮目標 循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築 人と自然が共にある環境の保全 やすらぎと潤いのある快適な環境の創造	環境配慮度 : 十分配慮している。 : 配慮している。 - : 特に配慮する必要がない。
---	---

技術指針に基づく環境配慮事項	環境配慮度	環境配慮の内容 (- の場合は、無記入でも可)	配慮度の評価の理由
-1 地球温暖化防止		区画拡大に伴う、営農機械の大型化。	大型機械による営農の実施によりエネルギー効率が上がるとともに、整備後は優良農地として保全され、温暖化防止が図られるため。
-2 廃棄物対策	○	事業実施前後で廃棄物の排出量に影響はない。なお、工事による発生材は三重県建設副産物処理基準に基づき適切に処分する。	三重県建設副産物処理基準に基づき適切に処分を行うことで、廃棄物対策が図られるため。
-3 生活環境の保全	○	事業実施前後で生活環境への影響はない。なお、工事に際しては、低騒音低振動型及び排出ガス対策型建設機械の使用に努める。	低騒音低振動型及び排出ガス対策型建設機械の使用により、地域周辺的生活環境の保全が図られるため。
-4 その他重点事項	-	特になし	特になし
-1 野生生物等の生育空間の確保	○	有識者より「用水路内にミナミメダカの生息を確認しているため、設計時に協議してもらいたい。」「アカネの生息している可能性があるが生育域の減少が個体数の減少の原因のため工事の影響はほとんどない」との意見をいただいた。現時点ではあくまでも計画段階であり、具体的な対策案等については、今後の詳細設計時に有識者と改めて協議を行い検討する。（例：ピオトープの設置や集水樹に沈殿場所を設けるなど。）	今後の詳細設計時に有識者と改めて協議を行い検討した結果に基づき、野生生物の生息環境の保全が見込まれるため。
-2 希少な野生生物の保護	○	用水路内にミナミメダカの生息を確認している。現時点ではあくまでも計画段階であり、具体的な対策案等については、今後の詳細設計時に有識者と改めて協議を行い検討する。（例：ピオトープの設置や集水樹に沈殿場所を設けるなど。）	今後の詳細設計時に有識者と改めて協議を行い検討した結果に基づき、野生生物の生息環境の保全が見込まれるため。
-3 地形、地質等の改変の抑止	○	1筆あたりの農地区画は拡大されるが、地形は平たく、また切盛土量も多くないため、地形の改変を最小に抑えた計画となっている。	地形の改変が最小に抑えた計画となっているため。
-4 その他重点事項	-	特になし	特になし
-1 緑化、周辺景観との調和	-	特になし	「区画整理によって、現況の景観を損ねることがないことから、景観配慮の必要性はない。」との意見を有識者よりいただいたため。
-2 親水等、ふれあい空間づくり	○	本事業により農地が整備され、耕作放棄地が防止される。	耕作放棄地の防止により周辺環境の保全が図られるため。
-3 その他重点事項	-	特になし	特になし
上記以外の特記事項	-	特になし	特になし

5-2 事業計画案の環境配慮に係る評価

従来事業等と比較して優れている点	本事業が実施されることにより、耕作放棄が防止され、農業活動の維持が図られるため、農業農村環境が持つ多面的な効果が期待される。
今後の課題	詳細設計を行い、地元要望や環境面についての調整を行う必要がある。
会議での調整を要する事柄	